

U.S. Indicators

発表日: 2023 年 4 月 24 日(月)

米国 早過ぎる景気再加速でインフレ圧力再燃(4 月 PMI)

～銀行破綻も4月の民間需要は拡大ペース加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel: 050-5474-7493)

23 年 4 月の S & P グローバル米国総合購買担当者指数 (PMI) は、53.5 (前月 52.3) と前月比で 1.2%p 上昇し拡大縮小の分岐点である 50 を 2 カ月連続で上回った。米中堅銀行の破綻が 3 月に起きたにもかかわらず、同統計調査対象企業の活動は、2 カ月連続で拡大した。新規受注、活動指数、雇用が 50 を上回っており、民間需要の再加速を示唆している。

製造業が 50.4 (前月 49.2) と前月比 1.2%p 上昇し、6 カ月ぶりに 50 台を回復したほか、サービス業は 53.7 (前月 52.6) と前月比 1.1%p 上昇し、3 カ月連続で 50 を上回った。世界景気の再加速、先行き懸念の後退による生産や新規受注の回復などを背景に拡大した。

インフレ関連では、投入価格指数、産出価格指数がともに上昇しており、早すぎる需要の再加速によって消費者段階でのインフレ圧力が再び強まっている可能性が示された。

PMI の構成項目をみると、製造業では、在庫が 49.1 (前月 49.1) が 50 を下回るもと、生産が 52.8 (前月 50.2)、雇用が 53.5 (前月 51.9) と 50 台を維持したほか、新規受注が 50.2 (前月 48.6) と 50 台を回復した。また、産出価格指数が 58.0 (前月 54.4) と再上昇した。寄与度では、入荷遅延が前月比▲0.21%p の押し下げ寄与となった一方、生産が前月比+0.65%p、新規受注が前月比+0.47%p、雇用が前月比+0.31%p、在庫が前月比 0.00%p の押し上げ寄与となった。

サービス業では、活動指数が 53.7 (前月 53.8) と 50 台を維持したほか、新規受注が 53.8 (前月 51.7)、雇用が 53.5 (前月 52.0) と上昇した。信用収縮が懸念されるなか、サービス業の活動はより活発化したうえ、インフレ上昇圧力が再び強まる動きが見られた。見通しを示す「将来の活動指数」は 67.0 (前月 65.7) とサービス関連企業が先行きに対する楽観的な見方を再び強めており、新規受注などの持ち直しが継続する可能性が高い。

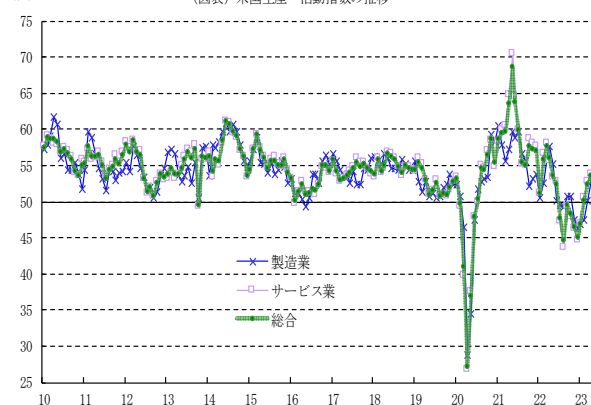
基調をみると、総合 PMI は 4 月に 53.5 と 1-3 月期の 49.7 から上昇し、米企業活動の拡大を示す水準を回復しており、米民間最終需要の加速を示唆している。インフレ低下が不十分なもとで、需要が再加速し始めていることから、コアインフレの低下を鈍くさせる可能性がある。

(図表) 米国購買担当者指数 (PMI) の推移



(出所) S&P Global

(図表) 米国生産・活動指数の推移



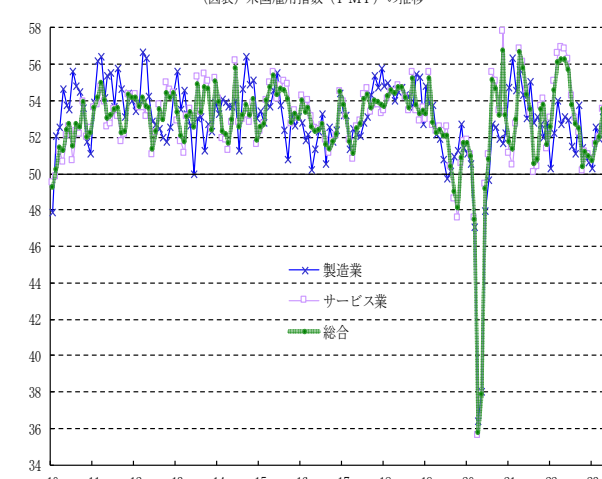
(出所) S&P Global

(図表) 米国新規受注指数 (PMI) の推移



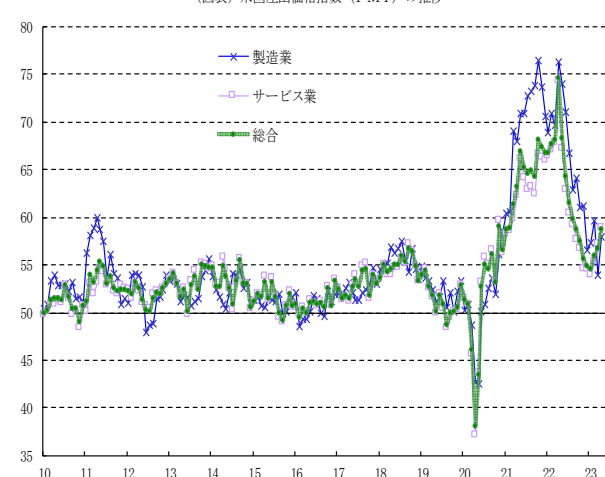
(出所) S&P Global

(図表) 米国雇用指数 (PMI) の推移



(出所) S&P Global

(図表) 米国産出価格指数 (PMI) の推移



(出所) S&P Global

(図表) 米国投入価格指数 (PMI) の推移



(出所) S&P Global

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

